

相談支援従事者研修（初任者研修）中期日程・後期日程 シラバス

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	演習1 コミュニケーションの基本
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	・相談支援の実際(受付及び初期相談並びに契約／アセスメント(事前評価)及びニーズ把握) (120分)
○	3 関連する研修目標	(1)本人主体の相談支援の各場面で求められる実践的な技術を習得すること。
○	4 担当講師名	姉帯 美和子 (MIW 工房 コミュニケーション・ナビゲーター)
○	5 担当講師略歴	札幌学院大学卒業 一般企業で編集業に携わったのち、フリーランスでコミュニケーションナビゲーター、編集者として活躍 専門分野:コミュニケーション、アサーティブ
○	6 時間数	120分
○	7 到達目標	・自分を知る ⇒日頃の自分の言動を振り返り、コミュニケーションのクセに気づく ・他者を知る ⇒自分とは違う「相手」を意識し、多面的な見方を獲得する ・聴くことを見直す
○	8 教科の概要	対人援助、相談支援の業務やプロセスにおいて重要なコミュニケーションについて実際の場面に即した様々な演習を通して学びます。
○	9 授業方法	ペアワークやグループワークなどの参加型の演習
○	10 授業計画	1.コミュニケーションの説明 2.自己紹介 3.視点(見方)の違い、チームワークの視点 4.最初の応答によって、話し手は？ 5.「聴く」こと
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	演習2 チームづくり
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	・相談支援の実際(受付及び初期相談並びに契約/アセスメント(事前評価)及びニーズ把握) (65分)
○	3 関連する研修目標	(2)チームでの支援方法を理解すること。
○	4 担当講師名	大久保 薫(札幌学院大学) 戸田 健一(障がい者相談支援センター 夢民) 日置 真世(NPO 法人北海道地域ケアマネジメントネットワーク) 林 健一(さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール) 浜尾 勇貴(根室圏域障がい者総合相談支援センター「あくせす根室」) 佐々木 雅代(根室圏域障がい者総合相談支援センター「あくせす根室」) 安井 博子(かみかわ相談支援センターねっと) 佐藤 直美(広域相談サロンくらしネットオホーツク) 長村 麻子(十勝障がい者総合相談支援センター) 平松 浩樹(自閉症者地域生活支援センターなないろ) 細谷 恵佑(相談室ぷらうむ) 小野寺 拓(地域ぬくもりサポートセンター、共同生活援助こまち) が日程ごとに担当
○	5 担当講師略歴	(募集要領参照)
○	6 時間数	65 分
○	7 到達目標	チームで演習を進めていくために、メンバーを知る
○	8 教科の概要	・グループメンバーと打ち解けあい、チームワークをつくる ・相談支援事業所名を決定し、チームとしての演習をスタートさせる
○	9 授業方法	グループワーク形式
○	10 授業計画	1.前期講義の振り返り～手順の説明(20分) 2.グループ内自己紹介(30分) 3.相談支援事業所名の決定と発表(15分)
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	演習3 インテーク演習
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	・相談支援の実際(受付及び初期相談並びに契約/アセスメント(事前評価)及びニーズ把握)(110分) ・相談支援の実際(目標の設定と計画作成)(100分)
○	3 関連する研修目標	(1)本人主体の相談支援の各場面で求められる実践的な技術を習得すること。
○	4 担当講師名	(演習2と同様)
○	5 担当講師略歴	(募集要領参照)
○	6 時間数	210分
○	7 到達目標	<p>【演習3～8 ケアマネジメント総合演習の到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジメントサイクルの一連の流れを理解する ・ケアマネジメントサイクルにおける各プロセスのポイントを理解する ・本人主体の相談支援のあり方について考え、身につける ・チーム(同僚及び応援団)とうまく協力・連携するための心構えや方法を知り、身につける <p>【演習3 インテーク演習の到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初回面談における関係づくりの重要性について理解する ・初回相談からケアマネジメント希望の確認までの流れを理解する
○	8 教科の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・相談者が相談に至った経過を理解する ・初回面接の基本的な流れを理解する ・面接における信頼関係の構築方法について理解し、身につける ・本人の生活状況の変化を捉え、その要因や想いの背景を推測する ・アセスメントの目的とルールについて理解する
○	9 授業方法	面接ロールプレイおよびグループワーク形式
○	10 授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1.ねらい、手順の説明(15分) 2.事例概要の説明、二人一組での相談面接のロールプレイ、振り返り(110分) 3.個人ワークとグループ内共有により、本人の想いをざっくりと捉える(60分) 4.まとめとサービス利用申請からサービス等利用計画案作成の流れの説明(25分)
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	演習4 アセスメント演習
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	・相談支援の実際(受付及び初期相談並びに契約／アセスメント(事前評価)及びニーズ把握)(75分) ・実践研究3(実践研究とサービス等利用計画作成)(110分)
○	3 関連する研修目標	(1)本人主体の相談支援の各場面で求められる実践的な技術を習得すること。
○	4 担当講師名	(演習2と同様)
○	5 担当講師略歴	(募集要領参照)
○	6 時間数	185分
○	7 到達目標	・多角的で想像豊かな視点と本人目線でデマンドからニーズに迫るプロセスを理解する
○	8 教科の概要	・複数の人による多角的な見方や発想でニーズに迫るプロセスを体験する ・収集したアセスメント情報を整理し、プランニングへつなげる
○	9 授業方法	グループワーク形式
○	10 授業計画	1.ねらい、手順の説明(10分) 2.質問形式によるアセスメント(110分) 3.短文作成法を活用した情報の整理(65分)
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	演習5 プランニング演習
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	・相談支援の実際(目標の設定と計画作成)(90分) ・実践研究3(実践研究とサービス等利用計画作成)(140分)
○	3 関連する研修目標	(1)本人主体の相談支援の各場面で求められる実践的な技術を習得すること。 (2)チームでの支援方法を理解すること。
○	4 担当講師名	(演習2と同様)
○	5 担当講師略歴	(募集要領参照)
○	6 時間数	230分
○	7 到達目標	本人の願いと可能性に基づくプランニングの手法を理解する
○	8 教科の概要	・本人のニーズを中心に具体化するための方法を考える ・サービス等利用計画を含む本人中心支援計画の意義を理解する
○	9 授業方法	グループワーク形式
○	10 授業計画	1.手順の説明と情報整理(リフレーミング、ストレングス)(30分) 2.計画の土台作りとしてプランニング補助シートの作成(個人ワークとグループ共有)(45分) 3.本人中心支援計画(サービス等利用計画案)の作成(個人ワークとグループ共有)(145分) 4.計画作成の振り返りとまとめ(10分)
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	演習6 模擬会議演習
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	・相談支援の実際(評価及び終結) (90分) ・実践研究2(実践例の共有と相互評価2) (20分)
○	3 関連する研修目標	(1)本人主体の相談支援の各場面で求められる実践的な技術を習得すること。 (2)チームでの支援方法を理解すること。
○	4 担当講師名	(演習2と同様)
○	5 担当講師略歴	(募集要領参照)
○	6 時間数	110分
○	7 到達目標	会議の進行のコツや配慮点を考える
○	8 教科の概要	・本人中心支援計画に基づく「サービス担当者会議」「ケア会議」とは何か理解する ・会議の開催のための相談支援専門員の準備業務について理解する ・会議を円滑に有意義に行うための運営方法、配慮などを理解する ・会議に参加する場合の留意点、役割などを知る
○	9 授業方法	グループワーク形式
○	10 授業計画	1.作業説明(15分) 2.サービス担当者会議のロールプレイ(45分) 3.ケア会議のロールプレイ(40分) 4.まとめ(10分)
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	演習7 モニタリング・エバリュエーション演習
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	・相談支援の実際(評価及び終結) (50分)
○	3 関連する研修目標	(1)本人主体の相談支援の各場面で求められる実践的な技術を習得すること。 (2)チームでの支援方法を理解すること。
○	4 担当講師名	(演習2と同様)
○	5 担当講師略歴	(募集要領参照)
○	6 時間数	50分
○	7 到達目標	本人中心支援計画実行後の見守りと見直しのプロセスを学ぶ
○	8 教科の概要	・本人中心支援計画実行からモニタリング～エバリュエーションの流れを理解する ・相談支援専門員の具体的なモニタリング業務について理解する ・再アセスメントもしくは終了への流れを理解する
○	9 授業方法	グループワーク形式
○	10 授業計画	1.手順の説明(10分) 2.計画実行後に相談支援専門員としてどのように行動するか、その時の留意点についての個人ワークとグループ内共有(25分) 3.まとめ(15分)
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	演習8 社会資源活用・開発演習
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	・相談支援の実際(評価及び終結) (40分) ・実践研究3(実践研究とサービス等利用計画作成) (90分)
○	3 関連する研修目標	(1)本人主体の相談支援の各場面で求められる実践的な技術を習得すること。 (2)チームでの支援方法を理解すること。
○	4 担当講師名	(演習2と同様)
○	5 担当講師略歴	(募集要領参照)
○	6 時間数	130分
○	7 到達目標	個別のニーズから地域に必要な社会資源の開発するプロセスを学ぶとともに、協議会の機能と役割について理解する
○	8 教科の概要	・地域にとって必要な資源を創出することの必要性を理解する ・社会資源の活用法、開発法について考え、発想を広げる
○	9 授業方法	グループワーク形式
○	10 授業計画	1.手順の説明(15分) 2.地域課題の抽出と解決のための社会資源の具体化についての個人ワークとグループ作業(75分) 3.具体化した社会資源企画のプレゼンテーション(25分) 4.まとめと協議会の説明(15分)
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	実習ガイダンス
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	・実習ガイダンス(60分)
○	3 関連する研修目標	(3)実習の位置付けと目的、実施方法を理解すること。
○	4 担当講師名	(演習2と同様)
○	5 担当講師略歴	(募集要領参照)
○	6 時間数	60分
○	7 到達目標	実習の意義と内容を理解する
○	8 教科の概要	・実習の位置付けと目的、方法について理解する ・中期日程3日間で気付いたこと、学んだことを整理して、実習につなげる
○	9 授業方法	グループワーク形式
○	10 授業計画	1.実習ガイダンス(30分) 2.中期日程の振り返りの個人ワークとグループ共有(25分) 3.まとめ(5分)
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	演習9 計画検証演習
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	・実践研究1(実践例の共有と相互評価1) (25分) ・実践研究2(実践例の共有と相互評価2) (40分)
○	3 関連する研修目標	(1)実習において自ら実施したアセスメント、プランニング等について、根拠を踏まえてわかりやすく説明できること。
○	4 担当講師名	(演習2と同様)
○	5 担当講師略歴	(募集要領参照)
○	6 時間数	65分
○	7 到達目標	実習で作成した計画を評価ツールを用いて自己評価する
○	8 教科の概要	・前期(講義)と中期(演習)を振り返り、相談支援の一連のプロセスを再確認する ・計画の質向上のため、検証することの必要性について理解する ・実習事例の計画を、客観的に検証する
○	9 授業方法	グループワーク形式
○	10 授業計画	1.前期、中期の振り返りについてのグループ内共有(25分) 2.評価ツールを用いた計画の自己評価と結果についての感想共有(35分) 3.まとめ(5分)
	11 準備学習	実習課題1 実習事例を1事例選定し、ケアマネジメントの一連の流れを実習
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	・平成23年度障害者総合福祉推進事業 「サービス利用計画の実態と今後のあり方に関する研究」 特定非営利活動法人 日本相談支援専門員協会 https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/shougaisishahukushi/cyousajigyousougoufukushi/h23_jigyo.html ・平成24年度障害者総合福祉推進事業 「サービス等利用計画の評価指標に関する調査について」 特定非営利活動法人 日本相談支援専門員協会 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/shougaisishahukushi/cyousajigyousougoufukushi/h24_jigyo.html

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	演習10 実習報告演習I
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	・実践研究1(実践例の共有と相互評価1) (335分)
○	3 関連する研修目標	(1)実習において自ら実施したアセスメント、プランニング等について、根拠を踏まえてわかりやすく説明できること。
○	4 担当講師名	(演習2と同様)
○	5 担当講師略歴	(募集要領参照)
○	6 時間数	335分
○	7 到達目標	実習事例を報告し合い、相互評価により新たな視点を探る
○	8 教科の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・実習事例におけるアセスメント、計画内容を簡潔に報告する ・実習での体験を通して、迷った点、苦勞した点について意見交換する ・メンバーからの多角的な意見により、本人理解や支援内容の新たな視点を探る
○	9 授業方法	事例検討
○	10 授業計画	1.手順の説明(10分) 2.実習報告×5～6事例 ①事例の概要把握 10分 ②対象者理解のための質疑応答 15分 ③中間まとめ(本人の意向と検討したい点の再確認)5分 ④意見交換とアイデア出し 15分 ⑤まとめ 5分
	11 準備学習	実習課題1 実習事例を1事例選定し、ケアマネジメントの一連の流れを実習
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	演習10(つづき) 実習報告演習II
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	・実践研究2(実践例の共有と相互評価2) (120分)
○	3 関連する研修目標	(2)他者からの多角的な意見により自らの実習内容を見直し、修正することができること。
○	4 担当講師名	(演習2と同様)
○	5 担当講師略歴	(募集要領参照)
○	6 時間数	120分
○	7 到達目標	多様な意見、アイデアを基に計画を見直す
○	8 教科の概要	実習報告演習Iで得られた多様な意見、アイデアを基に、追加の情報収集、再アセスメントについて考え、計画を見直す
○	9 授業方法	グループワーク形式
○	10 授業計画	1.手順の説明 10分 2.アセスメント(100文字要約)の見直し個人作業とグループ内共有 25分 3.計画の見直し個人作業とグループ内共有 55分 4.計画相談の実務的な制度説明とまとめ 30分
	11 準備学習	実習課題1 実習事例を1事例選定し、ケアマネジメントの一連の流れを実習
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	演習 1 1 地域演習 I II
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	<ul style="list-style-type: none"> ・実践研究2(実践例の共有と相互評価2) (60 分) ・実践研修3(実践研究とサービス等利用計画作成) (30 分) ・研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り (90 分)
○	3 関連する研修目標	(3) 地域課題の把握と課題解決のためのネットワークの重要性を理解すること。
○	4 担当講師名	(演習2と同様)
○	5 担当講師略歴	(募集要領参照)
○	6 時間数	180 分
○	7 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を知る、見つめ直す ・今後の相談支援実践に向けて、メンバーから明日から活かせるアイデアを得る
○	8 教科の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域(事業所所在市町村やグループメンバーの市町村)の色々な社会資源や協議会の理解を深める ・他者からのアイデアやサポートを受けて、個人、職場、地域での「できたらいいな」を具体化する
○	9 授業方法	グループワーク形式
○	10 授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習課題2をもとに、地域の社会資源の状況、協議会についての報告と質疑応答 60 分 2. 他者からアイデア・ヒントがほしいことを提起し、それに対してグループメンバーがアイデアを提供 90 分 3. アイデアの具体化と発表、まとめ 30 分
	11 準備学習	実習課題2 自らの業務地域の状況を知るための地域の調査
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	演習12 研修の振り返り
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	・研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り (60分)
○	3 関連する研修目標	(3) 地域課題の把握と課題解決のためのネットワークの重要性を理解すること。
○	4 担当講師名	(演習2と同様)
○	5 担当講師略歴	(募集要領参照)
○	6 時間数	60分
○	7 到達目標	相談支援に大切な視点、価値観を整理し、言語化する
○	8 教科の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・研修全日程を通じて気付いたこと、学んだことを整理する ・相談支援にとって大切な視点や価値観について改めて考える ・学びや気付きから重要なポイントを拾い、端的に表現してみる
○	9 授業方法	グループワーク形式
○	10 授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1.手順の説明(5分) 2.研修の振り返りと重要なポイントの整理の個人ワークとグループ内共有(20分) 3.「相談支援の五七五」の作成と全体発表(25分) 4.まとめ(10分)
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	